

(別添7)

事業所名 グループホームしらゆり竹田

2 目標達成計画

作成日: 平成30年5月25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	24	利用者の生活歴の記録、整理が不十分であり、生活歴に基づいた根拠のある支援やサービスに活かすことが出来ていない。	全職員が利用者の生活歴について共通した認識を持ち、利用者が望む自分らしい生活の実現に向けた支援に活かせるようになる。	入所時面談の際、生活歴に関する情報を出来るだけ多く収集し、職員の誰が見ても分かりやすいように文書化する。また、利用者との日々の関りの中から得た新たな情報も随時加筆出来るように様式を整理する。	3ヶ月
2	48	利用者が施設で生活していく中で、自分の力を発揮したり役割を持つ場面が少なく、利用者自身が張り合いや生き甲斐を感じながら日々の生活を送ることが出来ていない。	日常生活の中で、利用者それぞれが自分の力を発揮出来る場面が用意され、役割を担うことで生き甲斐を感じる事が出来る。	利用者の個性、力量そして得手不得手を全職員が把握し、1日の流れの中で利用者が参加できる場面、役割を作っていく。	6ヶ月
3	13	研修に参加した職員が、受講した研修内容を他の職員にフィードバックする機会を設けていないため、職員全員が研修内容を共有しておらず、介護スキルの向上に繋げることが出来ない。	研修を受講した職員は学んだ内容を全職員にフィードバックすることによって、介護現場での職員の技術向上に繋げる。	研修受講後は必ず研修報告書を作成し、その内容を全職員にフィードバックする機会(学習会)を設けることにより、研修内容を全職員が共有する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。